

4/12 SAT — 6/22 SUN

草野信林 画

気象業務150周年記念

明天 治氣を映す の東京

自然現象が教える持続可能な未来への道

ガスミュージアム **GAS MUSEUM** がす資料館

10:00 - 17:00 入場無料

月曜休館 但し、5/5(月・祝)は開館、5/7(水)は休館

ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー

上二層眺望 小林誠観 明治12年(1879)頃 / 下流原橋雨中景 井上敏治 明治14年(1881)

明治の東京

自然現象が教える持続可能な未来への道

4/12 SAT → 6/22 SUN

古来より私たちの暮らしは、雨や風、月の満ち欠け、日照時間などの自然現象に大きな影響を受けてきました。さまざまな時代の人々は、これら自然現象を見つめ、その変化を日常生活に生かすために工夫を凝らしてきました。

江戸時代には自然現象を取り上げた浮世絵が数多く生み出されましたが、明治時代に入ると、日中が主な活動時間であった人々の暮らしは、ガス燈が夜の闇を照らすことで、夜間でも広く活動が行われるようになりました。ガス燈の光に照らされた東京の街の様子は、小林清親によって始められた「光線画」というスタイルにより、効果的に影と光が表現され、人々の注目を集めました。その後も、自然現象をテーマにした風景画は多く生まれ、光の微妙な陰影を表現した作品は、明治時代の気象の一瞬の変化を現代に伝え、当時の人々の生活空間を感じることができま

す。今回の展示会では、150周年を迎える気象業務に因み、ガス燈のあかりが「月」「雪」「雨」などの美しい自然現象とともに表現された錦絵を紹介します。また、この美しい自然現象の風景を後世に残すために、東京ガスが「カーボンニュートラル」に向けて進めている活動についても焦点を当てます。ぜひこの機会に、明治東京の美しい自然現象を堪能してください。



中央気象台の図
新撰東京名所図会 第十五編 より
明治31年(1898)



千はんくい両国橋
小林清親 明治13年(1880)



雪 浅草橋夕景
井上安治 明治13年(1880)



本町通夜雪
小林清親 明治13年(1880)



梅若神社
小林清親 年不明



東京名所之内 新橋停車場之夜景
葛西虎次郎 明治35年(1902)



飯橋
寿昇 年不明

ガスミュージアム **GAS MUSEUM** がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25

TEL 042-342-1715

開館時間 10:00-17:00

月曜休館 入場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>



公式Instagram
@gas.museum

バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21]錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21]錦城高校経由
…東久留米駅西口行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)
車 新青梅街道 滝山交差点角 ※駐車場無料

